

御池沼沢ニュースレター

令和7年10月30日 Vol.140

東部指定地ミクリガヤの現地視察

10月16日（木）、東部指定地において愛知教育大学の渡邊幹男先生による、ミクリガヤの遺伝子解析および発芽実験に向けた現地視察を実施しました。

令和5年12月に天地返しを実施した場所（写真左・1-2）でミクリガヤが発芽しました。このミクリガヤは、以前から東部指定地に存在していた種に由来し、埋土種子（発芽能力を保ったまま土壤中に埋もれている植物の種子）が天地返しによって発芽したもので、順調に育っていることが分かりました。

このミクリガヤを定着させるためには、人為的な介入を行わず、自然に種子が落ちることによって新たな発芽が起きることを期待しているところです。このミクリガヤ（1-2）と、その約2～3m南に位置する、別のミクリガヤ（写真右・1-1）の遺伝子解析調査を実施します。



10月の環境保全活動：今年度の発芽実験準備

10月11日（土）に予定されていた環境保全活動は、雨天のため中止となりました。

10月22日（水）の環境保全活動では、東部指定地において、今後（1-1）のミクリガヤを増殖させるための準備を行いました。

12月にミクリガヤの生息地から北に約20m進んだ観察路脇の斜面（青囲み）で、発芽実験を実施する予定です。そのため、22日には事前準備として斜面の草刈りを実施しました。今年度の発芽実験では、ミクリガヤの種子が東部指定地内の水に流されたり浸かったりするのを防ぐため、観察路脇の斜面を利用することとしています。11月には再度の草刈りを行い、12月に発芽実験に臨む予定です。



<最近見られる植物>

サワギキョウ



シラタマホシクサ



ホリバリンドウ



ホリバリンドウとヤマラッキョウの共存



11月の活動予定 午前9時30分から開始します。よろしくお願いいたします。

11月 12日（水） 西部指定地 シラタマホシクサ周辺除草

11月 29日（土） 東部指定地 冬季除草準備